

事業名称	進化系アーカイブと旅するミュージアム事業		
実行委員会	進化系アーカイブと旅するミュージアム実行委員会		
中核館	大東市立歴史民俗資料館		
	住所	〒574-0015 大阪府大東市野崎三丁目6番1号	
	TEL	072-876-7011	FAX 072-876-7702
	ホームページ	<a href="https://rekisupo.com/">https://rekisupo.com/</a>	
構成団体	奈良大学博物館, 大東市教育委員会, 大東市立歴史民俗資料館市民学芸員連絡会		
事業開始時点の課題分析	<p>これまで、奈良大学博物館と大東市立歴史民俗資料館は、市民学芸員とともに「だんじり資料」の資料整理・調査・アーカイブ化に取り組んできた。この結果、「だんじり資料」の整理・アーカイブ化は進んだが、収蔵庫内にある他の資料については手つかずのままである。また、市民学芸員とともに各博物館の収蔵環境の調査を行ったが、収蔵棚の不足といった課題が残っている。これまで、市民学芸員は収蔵されている「だんじり資料」については、さまざまな知見を得ることができたが、他の民俗資料については知らないことが多く、勉強したいという意欲を持っている。</p> <p>地域や企業と連携して行ってきたアウトリーチプログラムは、「キット」と「プログラム」はそれぞれ完成したが、一体となつての実施にはいたっていない。また、協力いただいた企業や障がい者の方からは大東市立歴史民俗資料館だけでなく、他館でもアウトリーチプログラムを行ってほしいという要望があった。</p>		
事業目的	<p>奈良大学博物館の専門性と大東市立歴史民俗資料館の地域性という相互の持ち味を活かし、デジタル・アーカイブの構築とアウトリーチプログラムの開発を行う。具体的には、下記4点にまとめられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大東市立歴史民俗資料館では、市民学芸員とともに収蔵資料等のデジタル・アーカイブを構築し、他館への収蔵庫調査の成果をふまえながら収蔵庫の整理を進め、「登録博物館」を目指す。</li> <li>2) 奈良大学博物館では、1)を進めるなかにおいて、奈良大学との連携のなかから、デジタル・アーカイブや資料の保存・保管、展示等について専門的な技能や知識の提供を行い、小規模館に対する大学や大学博物館の支援方法を検討する。</li> <li>3) 市民学芸員がデジタル・アーカイブを進めることにより、今後アウトリーチや展示、研究等の場面において、市民学芸員が運用可能なデジタル・アーカイブや収蔵庫環境づくりを図る。</li> <li>4) 市民学芸員や学芸員に対して研修を実施することで、来館困難者や博物館無関心層へのアウトリーチを促す。</li> </ol>		
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 市民学芸員と収蔵資料のうち、まず大東市とも関わりの深い「河内木綿」をテーマに「衣」に関わる民俗資料の整理・アーカイブ化を試みる。</li> <li>2) 市民学芸員と収蔵史料のうち、まず大東市とも関わりの深い「河内木綿」をテーマに「衣」に関わる文献史料の調査・アーカイブ化を試みる。</li> <li>3) 既存のデータベース等を活用しながら、市民学芸員と運用可能なデジタル・アーカイブの構築と公開をする。</li> </ol>		

	<p>4) 市民学芸員と民俗資料から「ものづくり」の歴史を学びながら、道具や素材、構造などの見目を養った上で、用途に即した収納棚をつくる。</p> <p>5) 市民学芸員とアウトリーチしていくコンテンツとして「河内木綿」をより深く、実験的に学習するために河内木綿を育てるプロジェクトを実施する。</p> <p>6) アウトリーチプログラムを完成させ、アウトリーチプログラムを試行する館や市民学芸員が増えるように、学芸員スキルアップ研修を実施する。</p> <p>7) これらの事業について、これから学芸員を目指す学生等にも周知していくため、奈良大学博物館で展示を行う。また、報告書やシンポジウム等で周知を図る。</p>
<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークベニューの促進</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p><input type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p><input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>1) 大東市立歴史民俗資料館がこれまで行ってきた活動やその蓄積を活用し、未来へ伝えていく方法として、「登録博物館」を進める意義を問うことができた。</p> <p>2) 奈良大学博物館と奈良大学との連携のなかから、デジタル・アーカイブや資料の保存・保管、展示等について専門的な技能や知識の提供を行い、小規模館に対する大学や大学博物館の支援方法を検討することができた。</p> <p>3) 市民学芸員がデジタル・アーカイブを進めることにより、市民学芸員自身がアーカイブ化の意味や収納環境の整備の必然性を理解することができた。</p> <p>4) 市民学芸員や学芸員に対して研修を実施することで、来館困難者や博物館無関心層へのアウトリーチを考えるきっかけを与えることができた。</p>

## 【事業実績】

### 1. 進化系アーカイブー市民学芸員とつくる収蔵庫ー

#### (1) 市民学芸員と行う収蔵庫整理とアーカイブ



(外部講師による木綿関係資料の講義)

参加者の声

- ・木綿の工程、機の構造についてよく理解できました。
- ・腰機と高機の関係性がわかって面白かったです。



(外部講師による資料クリーニング・防錆処置の指導)

#### (2) 市民学芸員と行う史料整理とアーカイブ化



( 古 文 書 調 査 の 様 子 )

(撮影した古文書)

- ・古文書を写真ではなく、実物をさわって調査が出来て、貴重な体験が出来ました。
- ・くずし字が初めは読めませんでしたが、少しずつわかるようになり、作業が楽しくなってきました。

### (3) 市民学芸員と学ぶ「ものづくり」の歴史と収蔵棚作成



(曲げわっぱ体験)



(曲げわっぱ 曲げ加工)

#### 参加者の声

- ・木材を曲げられるとは思わなかった。木目の方向で曲げやすさに違いがあった。
- ・薄い板でも、曲げようとするとき反発力が強かった。過去、そして現在の職人さん達の技術力に驚かされる。

## 2. 旅するミュージアムー多様な層へ届けるアウトリーチー

### (1)市民学芸員とつくる「河内木綿」の旅



(他館の活動事例見学会)



(木綿作り)

#### 参加者の声

- ・作業の細かさ、大変さがわかった。布をボロボロになるまで使う気持ちがわかった。
- ・綿がたくさん収穫出来て嬉しかった。織りたい。

### (2)多様な層へのアウトリーチーをひろげるための学芸員研修



(講演の様子)

(ディスカッション風景)

- ・少し内容が難しく感じる場所もあった。
- ・事例がたくさん聞けたので、何らかの形で館に持ち帰りたいと思った。

### 3. 成果報告

(1)奈良大学博物館での展示



(だんじり幕の展示)



(だんじりのあった龍間の村の風景の展示)

・Thank you very much was interesting. These museum is very important for explain about conservation of museum objects. Thank you very much very interestin explain and wonderful work for sensei Uoshima and student from mongolia Nomia.

・thank you for museum's staff and Uoshima san.

・これから頑張ってください

・たまたまレポート発表でこの時期に私の地元大東市諸福の地車についてまとめました。この展示の素晴らしさを地元の保存会の友人たちにも伝えたいと思います。

・大東市歴史民俗資料館での展示も見ているので、奈良大学の展示とあわせて、地域に関わる文化財の保存・活用のどうなされているの理解出来て面白かったです。

・奈良大学博物館でこのような素晴らしい展示物を見ることが出来て良かった。

・今回の展示はいつも以上に楽しく見学させて頂きました。これからも楽しい企画展を楽しみにしています。

・スペース、設備ともに良かった。説明（ガイド）をしてくれる人がいると、より良いと思います。

・調査、普及、保存までを紹介、活動しているところに嬉しく思いました。

・これからも興味深い物を展示してください。有難うございました。

・県内の市町村や教育委員会と協力した研究、展示をして欲しい

・キャプションの曲りが気になりました。細かい所ですが、卒業生として気になり、書かせていただきます。

(2) シンポジウム



(外部講師による講演)

(かんたんな織物ワークショップ)

参加者の声

- ・おもしろい取り組みだと思った。発表以外の活動についても知りたい。
- ・紹介された機の種類、技法についてもっと深く知っていきたい。